

## 【ELS-G プログラム概略】

### (目的)

・法学・経済学両研究科の教員によるインテンシブな指導体制の下に、法学と経済学の複眼的な研究能力を備えたグローバル人材の養成

### (両研究科教員による指導)

・法一経両研究科の教員からなるプログラム担当教員が履修者に助言する。

### (英語での研究報告)

・海外(状況によって、国内又はオンライン)で開催される国際ワークショップにおける研究報告の機会(前期課程 1 回・後期課程 1 回)を提供する。

・海外の大学等の教員による指導を受ける機会を履修者に提供するように努める

### (定員)

・各学年前期課程 4 名程度・後期課程 4 名程度 総定員 20 名程度

・博士前期課程のみの参加, 博士後期課程のみの参加, 前期課程・後期課程の一貫参加のいずれも可能。ただし, 法学・経済学研究科以外に所属する学生は博士後期課程の参加のみ可能。

### (修了証書)

・「博士前期」・「博士後期」2 種類のプログラム修了証書(法学研究科長と経済学研究科長の連名)を発行する。

### <前期課程修了要件>

(1) エコノリーガル概論 2 単位(前期開講)

(2) ELS-M セミナー 1 単位×2

\*1 セメスター2 コマ\*4 回ほどの不定期実施。1 年次後期-2 年次後期までの継続的 3 単位受講を原則とするが, 修了要件は 1 単位×2 とする。なお, 4 月募集で合格した者については, 1 年次前期の ELS-M セミナー参加も可能。

(3) 英語による研究報告※

原則として ELS-G セミナー等における準備を経た英語による海外(状況によって、国内又はオンライン)での報告を, 最低 1 回行う。

\*上記セミナーで中間報告を行う。

\*報告に基づき, 英文論文集を作成する。

(4) 英文による研究成果を 1 篇以上提出すること(上記の英文論文集でも可)

\*報告又は研究成果には, 法学政治学と経済学の複眼思考が含まれていなければならない。

### <後期課程修了要件>

(1) エコノリーガル概論 2 単位(前期開講)(ただし, 前期課程で単位修得済みの場合は

不要)

(2) ELS-D セミナー 1 単位×3

\* ELS-M セミナーと合同で実施する。標準修業年限(1 年次前期~3 年次後期)までの継続的 6 単位受講を原則とする(学生の事情により履修しないことも認めるが、その場合は連絡すること)が、修了要件は3 単位とする。

(3) 英語による海外での報告

原則として ELS-G セミナー等における準備を経た英語による海外(状況によって、国内又はオンライン)での報告を、最低 1 回行う。

\* 上記セミナーで中間報告を行う。

\* 報告に基づき、英文論文集を作成する。報告又は論文集掲載の論文のいずれかに法学と経済学の複眼思考が含まれていることを求める。

(4) 英文による研究成果を 1 篇以上提出すること(上記の英文論文集でも可)

\* 報告又は研究成果には、法学政治学と経済学の複眼思考が含まれていなければならない。ただし、法学研究科又は経済学研究科以外に所属する履修者の場合は所属する研究科の専門分野と法学政治学又は経済学のいずれかとの複眼思考が含まれていけばよい。

【プログラム担当教員】

角松 生史(法学研究科) kado@kobe-u.ac.jp

水野 倫理(経済学研究科) mizuno@econ.kobe-u.ac.jp

リミノッチ・ミケーラ(法学研究科) riminucci@people.kobe-u.ac.jp

高橋 裕(法学研究科)

西上 治(法学研究科)

田中 喜行(経済学研究科)

\* 問い合わせは角松・水野・リミノッチのいずれかまで